

GM117

乗用 3 連ロータリーモア

取扱説明書



「必読」ご使用前に必ず本書をお読みください。

BARONNESS[®]
Quality on Demand

Serial No.10001-

Ver.1.1

目 次

重要な安全に関する案内.....	3
安全の手引き.....	4
各部の名称と機能	12
芝刈機の操作方法	14
メンテナンス	20
トラブルシューティング	25
仕様諸元	27

一般情報

このたびは、パロネス製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
 この取扱説明書は、本機の正しい取扱方法と点検方法について説明しています。
 機械をご使用になる前に必ず本書をお読みいただき、内容を十分にご理解の上、ご使用ください。
 いつまでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただきますようお願いいたします。
 後の参考のためにこれらの本機とエンジンのモデルやシリアル番号を保存してください。

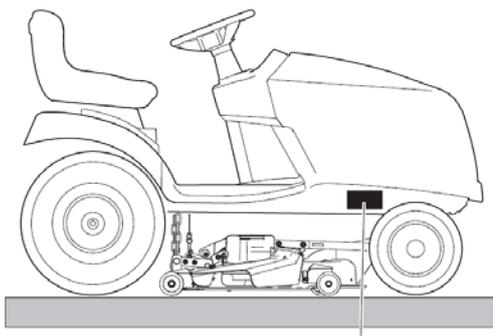
識別番号

乗用3連ロータリーモア	
型 式	GM 1 1 7
製造番号	
株 式 会 社 共 栄 社	

識別番号の内容

交換部品やサービスまたは情報のため販売店に連絡する際には、この番号を控えておいてお知らせください。

下記 製品識別データに、あなたのモデル名/番号、メーカーの識別番号とエンジン・シリアル番号を記録してください



識別番号の位置

製品識別データ	
モデル名 乗用3連ロータリーモア	
型式 GM 1 1 7	製造番号
販売店名	購入日
エンジンデータ	
エンジン	モデル・タイプ・コード番号

重要な安全に関する案内

安全識別インストラクション—この取扱説明書には最初のセットアップの時や守られなければならない重要な指示、活動とメンテナンスを含みます。後の参考のためにこれらの最初の指示を保存してください。

国際標識の意味



 この安全アラーム・シンボルは、人身負傷事故を起こし得る危険についての安全情報を示すものです。シグナルの語(危険、警告、または注意)は、警報シンボルとともに使われ、重度の負傷が起こりえる可能性と確率を示します。付け加えて、危険シンボルは危険の種類を示すのにも使われます。

 **危険** は避けられなかった場合、死亡事故や重度の負傷事故が起こる危険を示します。

 **警告** は避けられなかった場合、死亡事故や重度の負傷事故が起こるかもしれない危険を示します。

 **注意** は避けられなかった場合、軽度や中度の負傷事故が起こる危険を示します。

注意 (シンボルなしで使用) は作業機への損害をもたらす状況を示します。

警告

この製品とその関連したアクセサリの特定の構成要素は、ガン、先天性欠損症または他の生殖の危害を引き起こすことがあることがカリフォルニア州によって指摘されている化学製品を含みます。取扱後は手を洗ってください。

警告

エンジンの排気ガスにはカルフォルニア州が定める発ガン性物質が含まれており、出生障害や他の障害を発生する恐れがあります。

警告

バッテリーポストやターミナル及び接続しているアクセサリには鉛と鉛化合物を含みます。—ガン、先天性欠損症または他の生殖有害事象を引き起こすことはカリフォルニア州で知られています。取扱いの後は必ず手を洗ってください。

警告

 トラクタに搭載されたエンジンは一酸化炭素(無臭透明の毒ガス)を放ちます。

一酸化炭素を吸い込むと頭痛、疲労、めまい、嘔吐、混乱、発作、吐き気、元気がなくなることもまたは死を引き起こすことがあります。

- トラクタは屋外のみで運転してください。
- 排気ガスが窓やドア換気扇または他の隙間を通して屋内に入らないように家から離れた場所で運転してください。

安全の手引き

- このたびは弊社芝刈機をお買上げいただき誠にありがとうございます。
- この説明書は芝刈機の正しい取扱方法と、簡単な点検と手入れについて説明してあります。
- 運転する前に必ずお読みいただき、正しく安全な取扱いをお願いします。
- 本機の品質には万全を期しておりますが、作動の不具合や部品などに不備な点がありましたら、弊社、購入販売店、または協力サービス工場へご連絡ください。
- この取扱説明書はいつも手元に保管して繰り返しお読みください。
- 取扱説明書に記載された使用方法及び保守点検を守らない場合は、本機の故障や事故などの原因となり、機械の寿命を縮めるばかりでなく作業の安全を損ないます。
- お問い合わせの際は、製品の型式と製造番号を、お知らせください。



取扱説明書を読む事

この取扱説明書は、操作前はもちろん操作中の注意事項、重要事項全て含んでいます。安全な運転技術、製品の特長、操作方法、全ての安全に関する情報が含まれ、全てを理解する事で製品を最大限使用する事が可能となります。

この取扱説明書の安全の情報と操作方法をよく読み、完全に理解してください。



この芝刈機は、安全の為の世界基準を満たすよう設計、製造されています。作業者に安全に使用していただけますが、誤った使用方法やメンテナンスを怠ると重大な怪我や死亡事故を引き起こす可能性があります。作業者の安全と周囲の人の安全を守る為に、作業者が責任を持って、使用してください。作業中は常に安全を心がけてください。作業中に安全を確認できない場合は、販売店へご相談ください。

子供を機械に近づけない事



事故は、子供と共に起こる事があります。作業場所には、決して子供を近づけないでください。近づく可能性がある場合は、必ず、責任のある他の大人が監視してください。エンジンが止まっている場合でも、決して子供を機械に乗せてはいけません。重大な事故を引き起こす可能性があります。

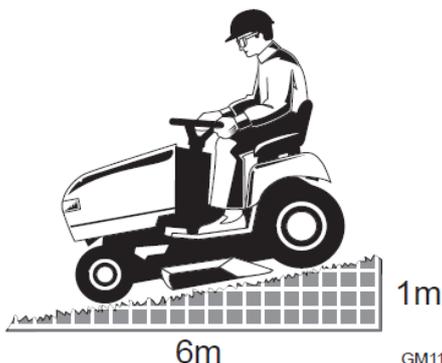
後進に関する注意



GM117_SP0_002

特に必要でない限り、後進しながら芝刈をしないでください。どうしても後進が必要な場合、常に後方を確認してください。怠ると重大な事故を引き起こす可能性があります。

傾斜地での操作



GM117_SP0_003

急な斜面で機械を使用した場合、重大な事故や死亡事故を引き起こす可能性があります。急すぎる斜面や補助装置などが無い状況で使用すると、コントロールを失ったり、横転する可能性があります。補助装置が無い状態では決して傾斜地で操作しない事が一番です。6mで1m以上上昇する傾斜（傾斜角度 10° 以上）では、決して操作しないでください。

また、傾斜地の表面の状況により、安定性と操作性に影響がでます。濡れていたり、安全が確保できないと判断された場合は、決して傾斜地で作業してはいけません。

稼動部に関する注意



この機械には、回転刃がついています。障害物があるとブレードが、障害物を吸い上げ吹き飛ばし、重大な事故を引き起こす可能性があります。芝刈を行なう前に、作業場から障害物を取り除いてください。芝刈機を使用する際は、集草装置を付けるか、サイドシュートを取り付けてください。

もし、作業現場に誰かが入った場合、直ちにエンジンを止め、作業現場から出て行くまで始動しないでください。

障害物に関する注意



GM117_SP0_004

この機械には、危険が伴う稼動部が多数あります。しかし、作業者が適切な操作を行なっている限りは、安全に操作できます。デッキには、非常に鋭利なブレードが回転しています。機械が作動中は、決して手や足、体をデッキに近づけてはいけません。この機械にはオペレーターが安全に操作できる為に、安全装置が付いています。この安全装置を解除したり、取り外したりしないでください。安全装置が機能していない場合は、直ちに販売店へ相談してください。

燃料とメンテナンスに関する注意

ガソリンは非常に可燃性があります。また、蒸発したガソリンは、非常に可燃性があり、大変危険です。ガソリンは、燃料としてのみ使用し、溶剤やクリーナーとしては決して使用しないでください。火災を引き起こさない為に、ガソリンは、機械の燃料タンクにあり燃料キャップがしっかりされているか、燃料缶に入れ、キャップがしっかりされている状態で保管してください。ガソリンをこぼしてしまった場合、すぐに拭き取ってください。ガソリンの適切な管理は、機械の安全性と操作性に非常に重要です。特に、安全に関するメンテナンスは定期的に点検し、取扱説明書に記載の保守手順を必ず実行してください。



使用上の注意、警告事項



以下の安全事項をよく読み、完全に従ってください。これらの安全事項に従わない場合、機械のコントロールを失い、作業者や周囲の人に重大な事故や死亡事故を引き起こす可能性があります。また、機械に損傷を与える可能性があります。

この芝刈機は身体や周囲の物に損傷を与えるものを飛散させたり、手や足を切断してしまう恐れがあります。

注意事項、警告事項を必ず守ってください。

一般的な操作

1. 機械を始動する前に、この取扱説明書をよく読み、理解してください。
2. 絶対に稼動部や機械の下に手や足を近づけないで下さい。特にデッキの排出口には、常に近づけないでください。
3. 機械の操作に精通した大人だけ操作してください。
4. 作業エリアに障害物（石、おもちゃ、ワイヤ等）がある場合は、回転刃によって飛散する場合がありますので、作業前に必ず取り除いてください。
5. 作業を始める前に、作業エリアに人がいない事を確認してください。もし、作業エリアに人がいる場合は、作業エリアから離れるまで作業を行なわないでください。
6. 決して人を運ぶ為には使用してはいけません。
7. 特別な必要がない限り、後進しながら芝刈をしてはいけません。後進する際は、方向をよく確認してゆっくり後進してください。
8. 芝刈の際に出る排出物を、壁や障害物に直接ぶつけないでください。排出物が跳ね返り、作業に戻る可能性があります。砂利などの上を通る時は、必ずブレードの回転を停止してください。
9. 集草バック、サイドシュート、その他安全装置が排出口に取り付けられていない状態での作業は絶対に行なわないでください。
10. 旋回する際は、ゆっくり行なってください。
11. 動いている機械を無人で放置してはいけません。機械から離れる際は、PTOスイッチを解除し、パーキングブレーキをかけ、エンジンを停止し、キーを抜いてください。
12. 芝刈をしない時は、ブレードPTOスイッチは停止してください。機械の清掃、グラスキャッチャーの取り外し、サイドシュートの取り外しはエンジンを停止し、稼動部が完全に停止した事を確認してから行なってください。
13. 機械の操作は、明るい日中か、十分に明るく光を照らした状態で行なってください。
14. 飲酒泥酔、薬物を吸引した状態で機械の操作をしてはいけません。
15. 道路の近くで操作する際は、交通状態に注意してください。
16. 機械をトラック等に積み込む際は、特に注意してください。
17. 機械を操作中は、常に保護メガネを装着してください。
18. 60才以上の人が芝刈機を運転する場合に、芝刈機に関連したケガをすることが非常に多いという統計があります。60才以上の人は自分自身や他の人に大ケガをさせないで安全に芝刈機を運転できる技量があるか良く判断することが重要です。
19. 機械に重り、ウェイトをつける際は、製造元が推奨する物を使用してください。
20. 作業者は、他人や他人の財産に関する事故を引き起こした場合、責任を負わなければいけない事を常に意識して作業を行なってください。
21. 全ての作業者が、専門的知識、実用的な操作方法を身につける必要があります。
22. 作業をする際は、必ず長ズボンや安全靴、帽子またはヘルメット、防護メガネを使用してください。裸足、サンダルなどで作業を行なわないでください。
23. 使用前にブレードが安全に確実に取り付けられているか目視により確認してください。磨耗していたり、損傷している場合は交換してください。
24. 給油する際、機械の調整をする際に、アタッチメントが邪魔になる場合は、アタッチメントを取り外してください。
25. 機械を駐車する際、格納したり無人で放置する場合は機械的に動かない状態にしてください。
26. 作業者が離れる際は、どんな理由であれパーキングブレーキをかけ、PTOスイッチを解除し、エンジンを停止し、キーを外してください。
27. 火災の危険性を減少させる為、刈芝、落葉、可燃物から離してください。刈芝、枯葉等の近くに停車しないでください。

保管と輸送する際の注意

- 1.トラックに載せる際は、機械がトラックの荷台の前方にしっかり接触しているか確認してください。もし、後方のあおりに接触している場合は、あおりを破損させる可能性があります。
- 2.機械を保管、輸送した後に給油をする際は、安全に的確に給油を行なってください。
- 3.通気、換気が十分に行えない場所には、ガソリンを入れたまま機械を保管しないでください。蒸発したガソリンは、非常に可燃し易い為、非常に危険です。
- 4.短期間、長期間の保管に関わらず、保管する際は常に取扱説明書に従って保管してください。
- 5.保管後、再び使用する際は、エンジン取扱説明書に従い、適切に始動してください。
- 6.燃料缶などをしっかり封ができない容器（湯沸しポットなど）に保管しないでください。機械を保管する際は、エンジンが冷えてから保管してください。

斜面での操作

斜面での作業は、機械が制御不能になる可能性がある大きな要因です（適切に操作を行なわないと、重大な事故や死亡事故を引き起こす可能性があります）。斜面における作業は、常に危険が伴います。安全上、補助的な処置が取れない場合や作業場不安を感じる場合は、決して斜面で作業を行なわないでください。斜面で芝刈機がすべった場合、ブレーキでは制御できなくなります。制御不能を引き起こす主な要因は、以下の通りです。

不十分なタイヤと地面の接地力、スピード出し過ぎ、不十分なブレーキ、機械の能力を超えた作業、作業エリアの状態の認識不足、不適切な牽引の負荷分配など。

1. 斜面に対して、上下に芝刈を行なってください。斜面に対して横切って作業しないこと。
2. 穴、溝、隆起した部分に注意してください。不整地により転倒する可能性があります。また、高い芝草により地面の状態が確認できない場合がありますので注意してください。
3. 斜面で作業している間は、遅い速度で作業をし、速度調整は行なわないでください。
4. 芝生が濡れている時は、作業を行なわないでください。タイヤがスリップし、制御不能になる可能性があります。
5. 斜面を下る時は、常にギアを入れてください。機械がすべるのを防ぎます。
6. 斜面での始動、停止、旋回は行なわないでください。タイヤが制動を失い、大変危険です。
7. 斜面では、全ての作業をゆっくり行なってください。速度の急な調整、急旋回は絶対に行なわないでください。
8. グラスキャッチャーや他の集草装置を使用している時はより注意してください。それらは、機械の安定性に影響を及ぼします。急斜面では、使用しないでください。
9. 斜面で作業をする際、足で機械を支えながら行なわないでください。
10. 急斜面、溝、堤防の近くでは芝刈を行なわないでください。

11. 急斜面では、グラスキャッチャーを使用しないでください。
12. 安全を確信できない斜面では、決して作業しないでください。
13. 重りやウェイトを機械に取り付ける際は、販売店の推奨する物を使用してください。
14. 石や大きな枝等を作業前に取り除いてください。
15. 必ず低速で作業してください。ブレーキが制動しても、タイヤが制御を失う可能性があります。
16. 必要ない場合は、斜面で旋回しないでください。どうしても旋回が必要な場合は、ゆっくり旋回してください。



警告

16.7%（10度）以上の斜面では、決して芝刈機を使用しないでください。16.7%とは水平に6mで1m上昇する勾配です。

斜面で機械を操作する時は、ホイールウェイトかカウンターウェイトを使用してください。販売店へ適切なウェイトを確認して使用してください。斜面で使用する前に、低速になっている事を確認してください。

フロントのウェイトに加え、後部に集草装置を取り付けている場合は十分に注意してください。

斜面に対して、上下に芝刈を行なって下さい。決して、斜面に対して横切る方向で芝刈を行なわないでください。方向転換を行なう際は、十分に注意してください。斜面で始動、停止を行なわないでください。

牽引装置（乗用タイプ）

1. 牽引ヒッチが取り付けられている芝刈機にのみ牽引装置を取り付けてください。牽引部以外には、牽引装置を取り付けしないでください。
2. 牽引する傾斜角度や必要なウェイトは、製造メーカーの規定する範囲で使用してください。
3. 牽引された装置に、子供、その他の物・人を決して載せないでください。
4. 牽引装置にウェイトを載せて傾斜で使用すると、芝刈機の制御が失われる可能性があります。
5. 必ず低速で作業し、停止する際は十分な距離を確保してください。

子供に対する注意

子供の存在には、十分注意してください。注意を怠ると重大な事故が発生する可能性があります。子供は、芝刈機に興味を示します。決して子供がいる場合は、作業を行なわないでください。

1. 作業エリアに子供がいる場合は、作業エリアの外側に出るか、作業員以外の大人が子供を監視しているのを確認してから作業を行なってください。
2. 子供が作業エリアの中に入った場合は、すぐに作業をやめエンジンを停止してください。
3. 後進をしている時は、後ろに子供がいない事を常に確認してください。
4. ブレードが回転していない場合でも、決して子供を芝刈機に乗せてはいけません。落ちて大ケガをしたり、安全に芝刈作業を行なえなくなる可能性があります。過去に芝刈機に乗った事のある子供は、突然作業エリアに入り芝刈機に近づく可能性があります。
5. 決して子供に芝刈機を運転させてはいけません。
6. 見通しの悪いコーナー、木の周り、障害物等に近づく時は十分に注意してください。
7. ニュートラルの状態、傾斜を下らないでください。

排気に関する注意

1. この芝刈機のエンジン排気ガスからは、一定の量で人体に害を及ぼす物質が出る場合があります。エンジン作動中は、必要以上に近づかないでください。
2. エンジン排出ラベルで、排出物質を確認してください。

イグニッションシステム

1. このイグニッションシステムは、カナダの I C E S-002 に従事しています

修理とメンテナンスに関する注意

ガソリンの取扱い

1. タバコ、葉巻、パイプ等の全ての火を消してください。
2. 消防法で承認された燃料缶だけを使用してください。
3. 芝刈機が動いている時に、燃料を補給したり、燃料キャップを外したりしないでください。
4. 決して屋内で機械に給油を行なわないでください。
5. 火の気のあるところでの保管、給油は絶対に行なわないでください。
6. 輸送中やトラックの荷台で補給は行なわないでください。トラックや輸送機から離れた場所で補給してください。
7. トラック荷台から芝刈機を降ろして、地上で補給してください。地上に降ろせない場合には、燃料缶などを使用して補給してください。
8. 燃料が完全に満タンになるまで、燃料タンクに接触しているノズルは開いておいてください。
9. 燃料が衣服に付いた場合は、直ぐに着替えてください。
10. 決して燃料を溢れさせないでください。燃料キャップをしっかり締めてください。
11. ガソリンや他の燃料を扱う際は、十分に注意してください。燃料は、非常に可燃性があります。
12. もし燃料がこぼれた場合、よく拭き取り、こぼれた箇所が完全に乾くまで、エンジンは掛けないでください。
13. 給油が終わったら、しっかりと全ての燃料キャップを取り付けます。

修理とメンテナンス

1. 一酸化炭素が発生している可能性がある場所では、決して機械を作動させないでください。
2. ナットとボルト、特にブレード取り付けボルトは、しっかりと取り付けられているか確認してください。
3. 決して安全装置を変更しないでください。定期的に安全装置は点検し、必要であれば適切に修理してください。
4. 芝刈機から刈草、草、その他付着物を取り除いてください。オイル、ガソリンの吹きこぼれはきれいに拭き取ってください。
5. 障害物等にぶつかって停止した場合、再始動する前に、芝刈機を点検してください。
6. エンジンが作動している時は、決して調整や修理を行なわないでください。
7. 集草装置やサイドシュートは、頻繁に点検を行なってください。必要に応じて修理してください。
8. 刈刃は非常に鋭利な物です。修理する際は防護手袋等を必ず装着し、十分に注意してください。
9. ブレーキは頻繁に点検してください。必要に応じて修理してください。
10. 安全ラベル、警告ラベルはきれいに保ってください。必要に応じて交換してください。
11. こぼれたガソリンが着火する可能性がありますので、エンジンが熱い時は、燃料フィルタは交換しないでください。必要以上に、ホースクランプを広げないでください。燃料フィルタとホースにしっかりとホースクランプが取り付けられている事を確認してください。
12. エンジンの燃料システムに損傷を与える為、メタノールを含むガソリン、10%以上のエタノールを含むガソリン、ガソリン添加物は使用しないでください。
13. ガソリンタンクからガソリンを抜く場合は、屋外で行なってください。
14. 不具合のあるマフラーは取替えてください。
15. 純正部品だけを使用してください。
16. 工場出荷時の仕様に従って、設定と調節を行なってください。
17. 修理や点検は適切な場所で行なってください。

18. 適切な知識や技術がない場合は、大掛かりな修理は行なわないでください。不適切な修理方法は、製造元の保証等を受けることができない場合があります。

19. 複数のブレードが付いている芝刈機の場合、1つのブレードが他のブレードを回転させる場合がありますので注意してください。

20. エンジンガバナーの設定を変えないでください。エンジンを改造し、エンジン回転を上げると、作業者の危険を上げる事になります。

21. 清掃、点検、修理、障害物に衝突した場合、サイドシュートを外す等の際は、エンジンを停止しキーを抜きスパークプラグを抜いてから行なってください。

22. 芝刈機が動いている際は、HST冷却ファン等稼働部に手などを決して近づけないでください。

23. この機械には、油圧ポンプまたは油圧モータが取り付けられています。



警告

加圧下の状態の時、作動油は皮膚などに重大なケガをさせるだけの強い力があります。油圧部に関する箇所は、頻繁に点検し、油漏れ等がある場合は、販売店へ連絡し修理を行なってください。



警告

動力部を保管する際：スプリング等を取り外す際は、非常に危険です。熟練した技術者が取り外してください。

24. エンジンラジエーターを備えているモデルに関して：

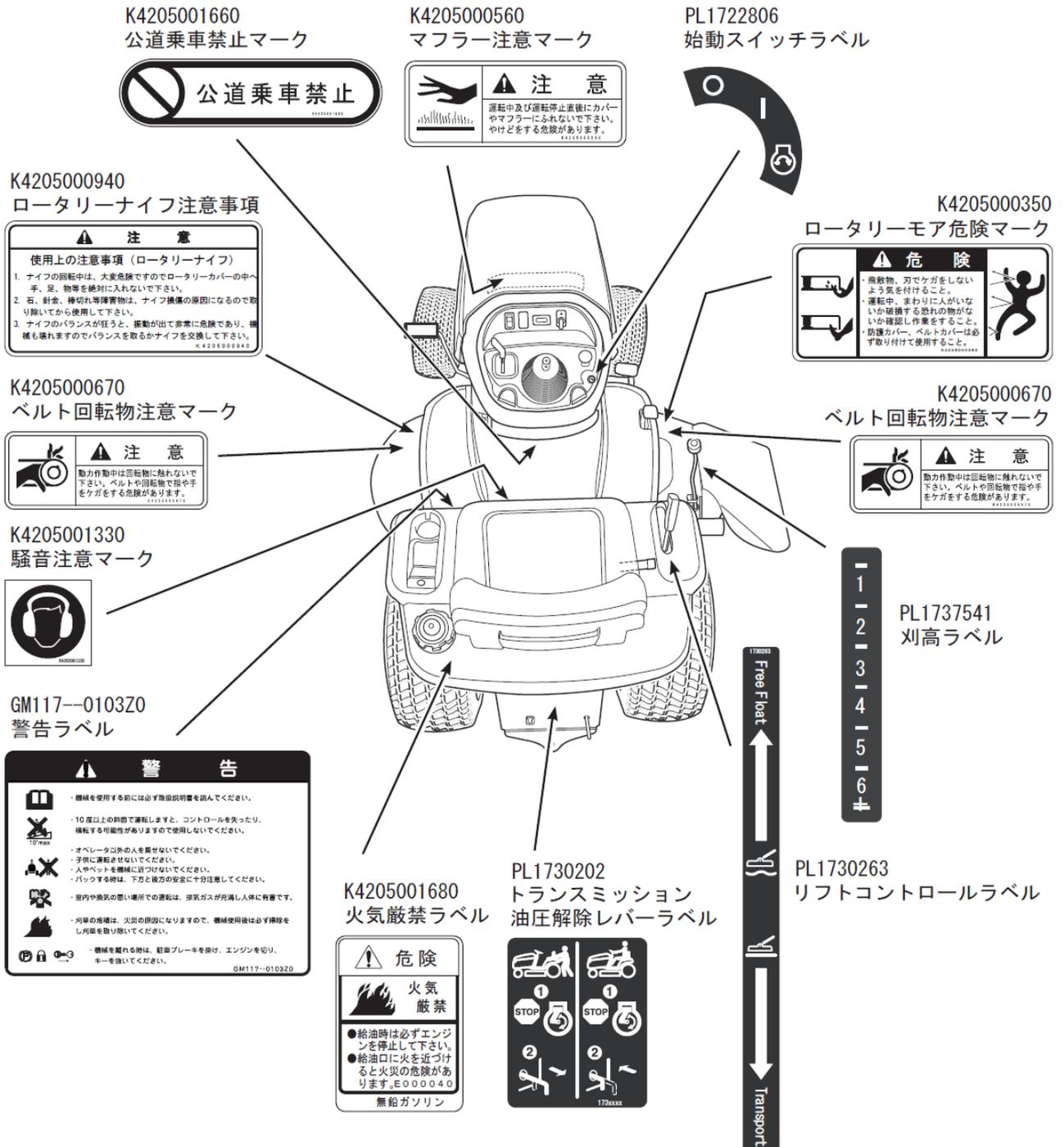


警告

熱い冷却液が噴出す可能性がある為、エンジンが作動中は決してキャップを外さないでください。キャップを外す際は、エンジンが完全に冷めた事を確認してから行なってください。

警告ラベル

この芝刈機は、適切に操作すれば、安全に使用できるように設計、生産されています。この取扱説明書をよく読み、基本知識を理解して操作いただければ、安全に有効にこの芝刈機を取り扱うことができます。操作中に特に重要な説明を警告ラベルとして、機械に貼ってあります。





PTO スイッチ (ブレード回転)

PTO スイッチは、ブレードの回転の「ON」「OFF」の切り替えをするスイッチです。このスイッチを引き上げると、ブレードが回転します。ブレードの回転を停止する時は、このスイッチを押すと停止します。

*操作する人が座席にしっかりと座っていないとこのスイッチは作動しません。



イグニッションスイッチ

イグニッションスイッチはエンジンの ON/始動/停止の 3 ポジションとなっています。



OFF

エンジンを停止及び電気回路が切れます。



RUN

エンジンの運転中と電気回路が作動します。



START

エンジン始動

注意: イグニッションスイッチが RUN の位置でエンジンが停止したまま、オペレータは離れないでください。バッテリーが低下します。



スピードペダル

芝刈機の走行速度は、前進スピードペダルを踏み込むことで調整できます。後進するには、後進スピードペダルを踏み込みます。

* 速度の出しすぎに注意してください。



クルーズコントロール

クルーズコントロールは、前進時にスピードを一定にするために用いられます。クルーズコントロールは 5 段階となっています。



刈高さ調整

芝の刈高さを調整するためにノブをコントロールします。時計回りにノブを回転するとモアデッキが上昇し、反時計回りに回転するとモアデッキが下降します。

刈高さは 20~102mm まで調整できます。



リフトコントロールレバー

リフトコントロールレバーは、モアデッキを上げ下げして、移動時とフリーの 2 つの位置を保ちます。芝刈りをするときにはレバーをフリーにセットしてください。芝刈りをせずトラクタを使う時やトラクタを移動するときは、レバーを移動にセットしてください。高くなった移動のデッキ位置で PTO を ON としないでください。

ベルトを損傷する恐れがあります。



シート調整レバー

シートを前方と後方に調節することができます。レバーを動かして、シートを希望の位置にして、レバーを離し、固定してください。



トランスミッション油圧解除レバー

トランスミッション油圧解除レバーは、芝刈機を手で押せるようにする為の油圧解除レバーです。

「トラクタを手で押す」の項参照



燃料タンク

キャップを外す為には、反時計回りに回転させてください。



燃料計

タンク内の燃料の残量を示します。



パーキングブレーキ

パーキングブレーキノブは、芝刈機が停止している時に、ブレーキをロックさせる為に使用します。

ブレーキペダルを完全に踏み、ノブを引き上げるとブレーキはロックします。



ブレーキペダル

芝刈機を停止させる為にブレーキペダルを踏み込みます。

芝刈機の操作方法

パーキングブレーキの作動

パーキングブレーキをかける—図 2 参照

パーキングブレーキをロックするために、スピードペダル(A)を離してください。完全にブレーキペダル(B)を踏み込んでください。パーキングブレーキノブ(C)を上へ引いてください。ブレーキペダルを離してください。

パーキングブレーキを解除する—図 2 参照

パーキングブレーキを解除するためには、ブレーキペダル(B)を完全に踏みこんで、ブレーキ・ノブ(C)を下へ押してください。

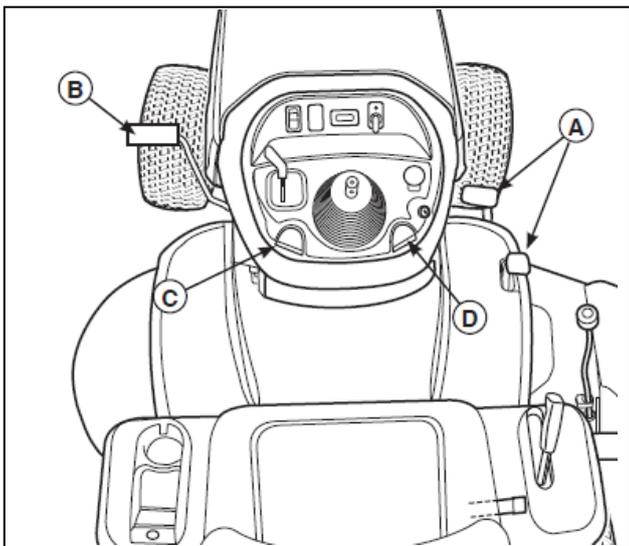


図 2 パーキングブレーキとクルーズコントロール

クルーズコントロール

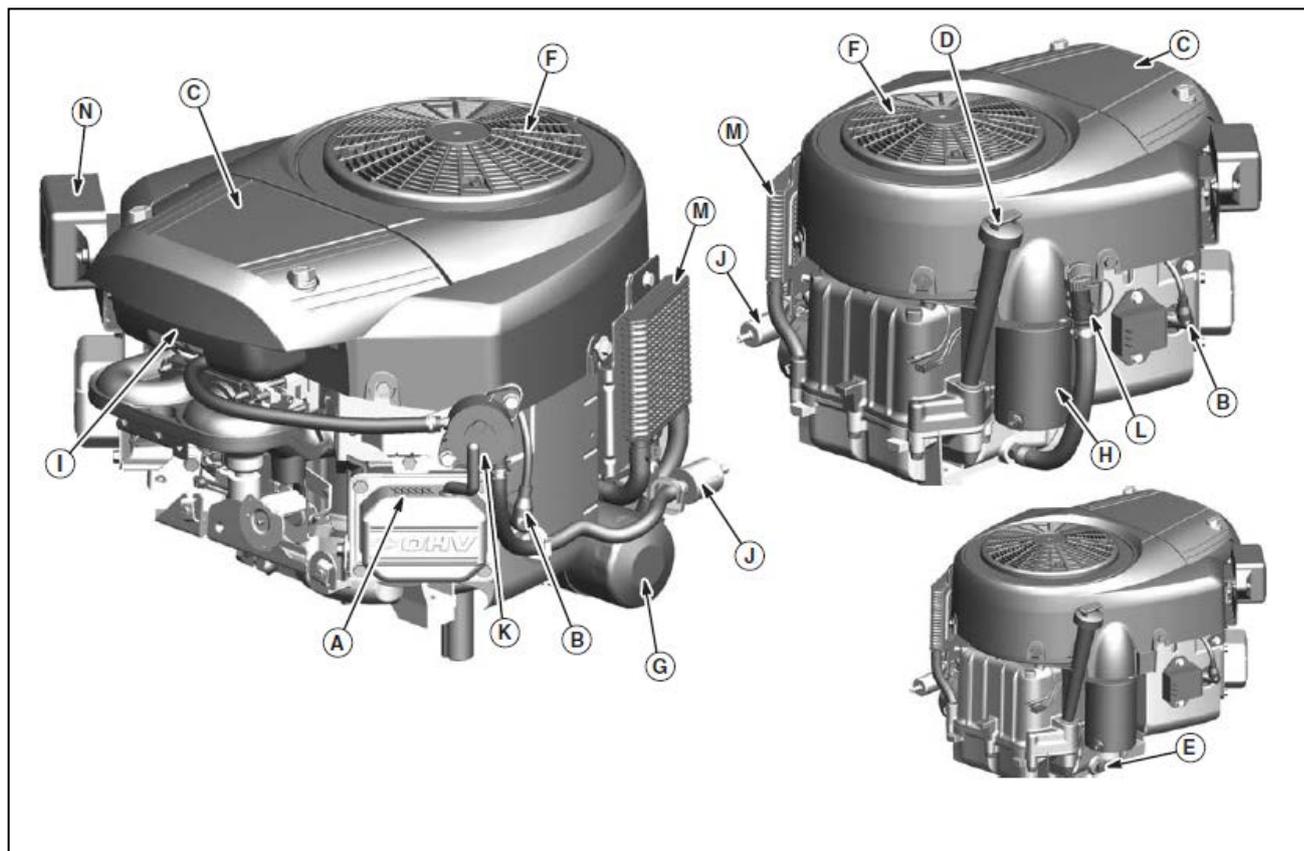
ON にする—図 2 参照

1. スピードペダル(A)を前進方向に踏み込みます。
2. 希望するスピードになったら、クルーズコントロールノブ(D)を引き上げます。クルーズコントロールは5段階の位置から選べます。

OFF にする—図 2 参照

1. ブレーキペダル(B)を踏み込む。
または
2. スピードペダル(A)を前進方向に踏み込む。

エンジンコントロール



- A. 「モデル・タイプ・コード」番号表示位置
- B. スパークプラグ
- C. エアクリーナ
- D. オイルゲージ
- E. オイルドレンプラグ
- F. ローテティングスクリーン
- G. オイルフィルタ

- H. セルモータ
- I. キャブレタ
- J. 燃料フィルタ(オプション)
- K. 燃料ポンプ(オプション)
- L. クイックオイルドレン(オプション)
- M. オイルクーラ(オプション)
- N. 電子コントロールユニット(オプション)

セーフティ インターロック システムのテスト

この芝刈機には、安全装置が付いています。これらの安全装置は、作業者の安全を守る為に付いています。決して取り外したり、改造したりしないでください。定期的に安全装置を点検し、正常に作動するか確認してください。

テスト1 エンジンがクランクしない

- PTOスイッチがONとなっているか もしくは
- ブレーキペダルが十分に踏み込まれていない (パーキングブレーキがOFF) もしくは
- クルーズコントロールレバーが「中立」となっていない。

テスト2 エンジンが始動するには

- PTOスイッチが「OFF」の状態
- ブレーキペダルが十分に踏み込まれている状態(パーキングブレーキがON)
- クルーズコントロールレバーが中立の位置にある時

テスト3 エンジンを停止させるには

- PTOスイッチが「ON」の状態で作業者が座席を離れた場合
- ブレーキペダルが十分に踏み込まれていない (パーキングブレーキ OFF) 状態で、作業者が座席から離れた時

テスト4 ブレードブレーキの点検

ブレードとデッキドライブベルトは、PTOスイッチを「OFF」または作業者が座席から離れると、5秒以内に停止します。もし、5秒以内に停止しない場合は、販売店に相談してください。

テスト5 RMO (Revers mow Option) スwitchの点検 (後進刈オプションスイッチ)

- PTOスイッチが「ON」の状態、かつRMOスイッチが機能していない状態で後進するとエンジンは停止します。
- RMOライトは、RMOが機能している時に点灯します。

注意: 一旦エンジンが停止したら、作業者がエンジンを始動するために座席に座った後、PTOスイッチを押して「OFF」にしなければなりません。

警告

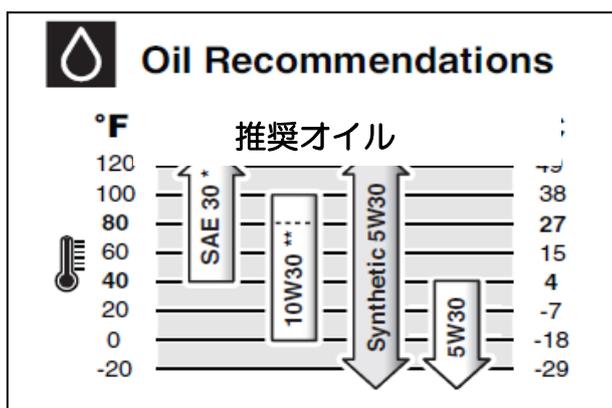
この安全装置が完全に機能していない場合、芝刈機を使用してはいけません。販売店へご相談ください。安全装置が十分に機能していない状態で、安全装置を改造しないでください。

推奨エンジンオイル

ブリッグス&ストラットン エンジンの保証認定されたベストパフォーマンスのオイルを使用することを薦めます。良質で清浄性を有するオイルでサービス等級SF、SG、SH、SJまたはそれ以上の高品質のオイルを使用してください。市販の添加物は使用しないでください。

エンジン始動時の外気温に合わせて正しい粘度のオイルを選定してください。

下表を参照して外気温に合わせてオイルを選択してください。



* 外気温 4°C以下で SAE30 のオイルを使用すると始動不良となります。

** 外気温 27°C以上で 10W-30 を使用した場合、オイル消費が多くなります。オイル点検はこまめに行ってください。

オイルの点検と補充—図4参照

- トラクタを平らな場所に止めます。
- エンジンを停止してイグニッションスイッチを引き抜きます。
- オイル注入口(C)付近の汚れをふき取ってください。
- オイルゲージ(A)を外しきれいな布で拭いてください。(図6)
- オイルゲージを完全に差込みます。
- 再度オイルゲージを引き抜き、オイルレベルを確認します。オイルはFULL(B)の位置にあることを確認してください。
- FULL となっていればオイルゲージを差込み、ねじ込んでください。
不足している場合はオイル注入口(C)からオイルを補充してください。(推奨エンジンオイルの項参照)
- 入れ過ぎないでください。オイル補充後は1分ほど待ってからオイルレベルを再確認してください。
- オイルレベルを確認してください。オイルの点検と補充の項参照

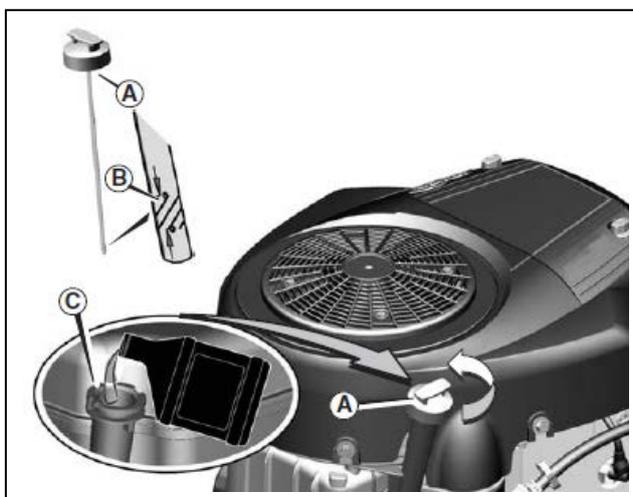


図4 オイルの点検/補充

オイルプレッシャ

オイルプレッシャが低い場合、プレッシャスイッチ(オプション)が作動してエンジンを停止するか、警告装置を作動させます。このような場合エンジンを停止してオイルレベルを確認してください。

オイルレベルがADDマークの下であればFULLまで、オイルを補充してください。エンジンを始動して作業前に、適当なオイルプレッシャであるかを確認してください。

オイルレベルがADDとFULLマークの間にある場合、エンジンを始動しないでください。お買い求めの販売店にご相談ください。

推奨燃料

常に以下の性能を持つガソリンを使用してください。

- ・ 清浄で、新鮮なレギュラー無鉛ガソリン
- ・ 87 オクタン以上/87 AKI(91 RON)高高度で運転する際には下記の高高度用ガソリン
- ・ ガソリンに 10%以下のエタノール(ガスホール)含有の燃料は容認できません。

注意: E15及びE85のような未承認の燃料は使用しないでください。ガソリンにオイルを混ぜないでください。キャブレタを改造等して代替燃料を使うような改造はしないでください。これらを使用してエンジンが損傷した場合、保証の対象とはなりません。

燃料システムにガム形成物を発生させないために純正のガソリン劣化防止剤がありますのでブリックス&ストラットンのディーラーからお求めください。

全ての燃料は同一のものではありません。始動性や出力不足のトラブルが発生した場合、燃料の供給元もしくはブランドを変更してください。

保管参照。

高高度

海拔 1500m 以上でエンジンを運転する場合、ガソリンは 85 オクタン以上/85AKI(89RON)であれば運転できます。高高度にあわせた調整が必要です。キャブレタのメインジェットを高高度用に交換する必要があります。詳しくは作業機ご購入された販売店にお問い合わせください。尚、海拔 762 m 以下で高高度用ジェットを取り付けたままで運転することはおやめください。

燃料の補給



警告

ガソリンとその蒸気はきわめて可燃性が高く、爆発性があります。
火災または爆発により、ヤケドや死亡事故が起こる可能性があります。

燃料補給時

- ・ エンジンを停止し、燃料タンクキャップを外す前に少なくとも2分間冷却させてください。
- ・ 燃料タンクは屋外か換気のよいところで補給してください。
- ・ 燃料タンクに規定以上入れないでください。燃料の膨張に備えて、タンクの口元から約 38mm 程下がった位置までの給油としてください。
- ・ ガソリンをスパークや炎、パイロットランプ、熱やその他の着火源から離してください。
- ・ 燃料ホース、タンク、キャップを確認して、クラックや漏れが無いかを確認してください。必要であれば新品と交換してください。
- ・ 燃料をこぼした場合、エンジン始動前にガソリン蒸気が完全に無くなっていることを確認してください。

1. 燃料タンクキャップの周辺をふきとり、タンクキャップを外します。(A)図5
2. 燃料タンクにガソリンを注入します。燃料の膨張に備えてタンクの口元まで入れないでください。
3. エンジン始動前にキャップを取り付けてください。

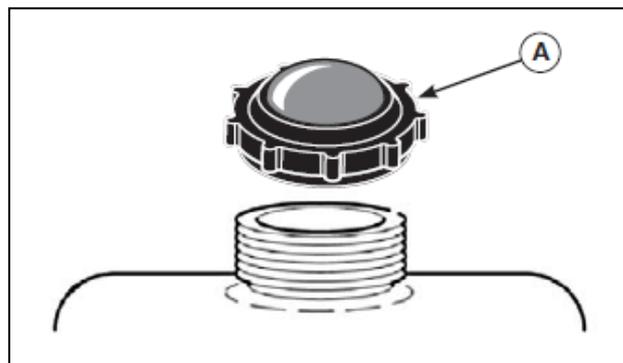


図5 燃料の補給

エンジンの始動



警告

ガソリンとその蒸気はきわめて可燃性が高く、爆発性があります。
火災または爆発により、ヤケドや死亡事故が起こる可能性があります

エンジン始動時に

- ・ スパークプラグ、マフラ、燃料タンクキャップやエアクリーナが所定の位置に収まっているか確認してください。
- ・ スパークプラグを外したままでクランクしないでください。
- ・ エンジンから燃料があふれる場合、チョークを OPEN/RUN(開/運転)位置とし、スロットルを「高速」位置としてエンジンが始動するまでクランクしてください。



警告

エンジンは、無色・無臭な毒ガスである一酸化炭素を排出します。
一酸化炭素を吸入すると吐き気や失神を起したり、死亡する場合があります。

- ・ エンジンの始動と運転は屋外で行ってください。
- ・ ドアや窓を開けてあった場合でも、密閉された場所でエンジンを始動したり、運転しないでください。

1. シートに座りシート調整レバーを上げて、要望通りのシート位置に合わせレバーを離してください。
2. ブレーキペダルを完全に踏みこむか、ブレーキペダルを完全に踏みこみ、パーキングブレーキ

ノブを上引き上げます。その後ペダルから足を離します。

3. PTO スイッチを押して接続を外します。
4. スロットル/チョークコントロールを動かして「チョーク」とします。
5. イグニッションキースイッチを差し込み時計方向に回して「START」とし、エンジンが動いたらキーから手を離します。
6. エンジン始動後はスロットル/チョークコントロールを中間位置とします。エンジンの暖機のために少なくとも30秒以上運転してください。
7. スロットル/チョークコントロールを「FAST」とします。

注意：非常事態の場合には、トラクタのエンジンは、イグニッションキースイッチを「STOP」に回すことにより停止してください。通常の停止方法はトラクタとエンジンの停止の項参照

トラクタの操作

1. 充分によくコントロールすることができるように、またダッシュボードがよく見ることができるよう、座席に座って座席を調節します。
2. パーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルから足を外します。
3. PTO スイッチを押して「OFF」になっている事を確認します。
4. エンジンを始動します。(エンジンの始動の項参照)
5. パーキングブレーキを解除し、ブレーキペダルから足を外します。
6. 前進スピードペダルを踏み込んで前進します。止まるにはペダルから放してください。ペダルを強く踏み込めば走行スピードは速くなります。
7. スピードペダルを離してトラクタを停止させ、パーキングブレーキをかけエンジンを停止させます。トラクタ及びエンジンの停止方法の項参照

芝刈り操作

1. リフトコントロールレバーでモアデッキをフリーの位置にし、刈高を刈り込もうとする高さに、刈高さ調整ノブで調節します。
2. パーキングブレーキをかけます。PTO スイッチがOFFになっている事を確認します。
3. エンジンを始動します。(エンジンの始動の項参照)
4. スロットル/チョークレバーをFAST の位置にし、エンジンスロットルをフル回転にします。

5. PTO スイッチを引き上げ、ブレードを回転させます。
6. パーキングブレーキを解除して芝刈りを始めます。
7. 芝刈り作業が終了したら、PTO スイッチをOFF にし、リフトコントロールレバーでモアデッキを移動時の位置にします。
8. エンジンを停止します。(トラクタとエンジンの停止の項参照)



警告

PTO スイッチがON の状態で、かつRMO スイッチが機能していない場合に後進するとエンジンは停止します。作業者は、芝刈りする時以外の道路を横断する場合等には、PTO スイッチをOFF にして走行してください。



警告

芝刈りしながら後進する事は、周囲の人にとって危険が及び可能性があります。特に子供の存在には、作業者が細心の注意を払わないと、重大な事故が起こる可能性があります。子供が近くにいる場合、RMO スイッチを機能させて、芝刈り作業を行なわないでください。子供は、しばしば機械や芝刈り作業場に寄ってくる傾向があります。

後進しながらの芝刈り

RMO™ (Reverse Mow Option) を使用すれば、後進しながら芝刈り作業を行なえます。PTO スイッチをON にしてから、RMO キーをまわします。LED ランプが点灯したら、後進しながら芝刈り作業が行なえます。RMO は、PTO スイッチがOFF になると機能しなくなります。RMO キーは、必要時以外は、外しておく事を推奨します。

手で芝刈り機を押す方法

1. PTO スイッチをOFF にし、エンジンを停止します。
3. トランスミッション開放レバー (図6のA) をトラクタ後方へ引きます。
4. パーキングブレーキを解除します。
5. トラクタは手で押せます。

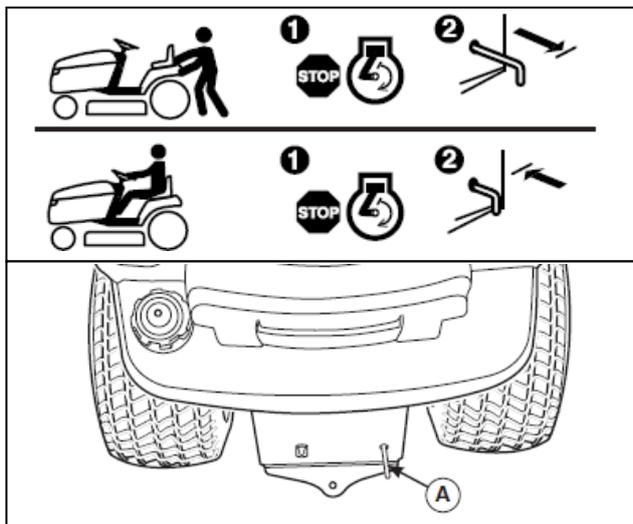


図 6 トランスミッション開放レバー

トラクタを牽引しないでください



トラクタを牽引することは、トランスミッションに損傷を与えます。

- このトラクタを押すか、引くために別の車両を使わないでください。
- エンジン運転中に、リリースバルブレバーを作動させないでください。

モアデッキの刈高さ調整

刈高さ調整をするにはモアリフトコントロールレバー(図7のA)を上下させて刈取位置や移動位置にします。

デッキを降ろすには、モアリフトコントロールレバーをわずかに引き、それを左の方に押して、下に降ろしてください。移動時にデッキを上げるためには、モアリフトコントロールレバーを引き上げ、右のノッチに固定してください。移動時の位置では芝刈はしないでください。

刈高さ調整ノブ(B)は、下げているモアデッキを制御し、刈高を調整します。デッキを上昇するには時計回りに、デッキを下降するには反時計回りにノブを回してください。

刈高さの調整は20~102mmで調整できます。

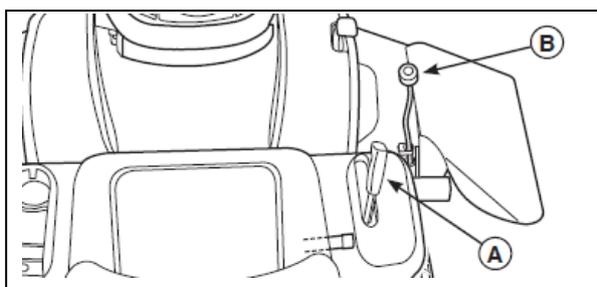


図 7 モアデッキの高さ調整

トレーラーの牽引

トレーラー牽引棒にかかる水平方向の最大負荷は280N(28kg)です。トレーラー牽引棒にかかる垂直方向の最大負荷は160N(16kg)です。これは、10度の傾斜角度で113kgのトレーラーに等しいものです。

クレビスピン(A、図8)でトレーラーを固定して、クリップ(B)をとめてください。

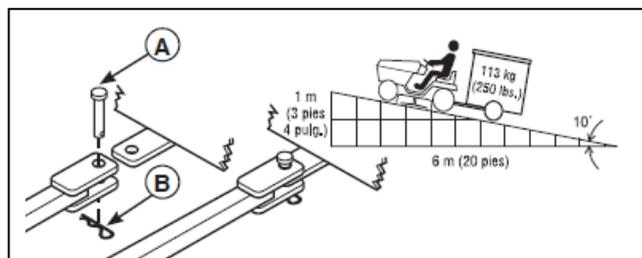


図 8 トレーラーの牽引

トラクタ及びエンジンの停止方法



警告



ガソリンとその蒸気はきわめて可燃性が高く、爆発性があります。



火災または爆発により、ヤケドや死亡事故が起こる可能性があります。

- チョークを閉じてエンジンを停止させないでください

1. スピードペダルを離し、ニュートラルに戻します。
2. PTOスイッチを押し、ブレードの回転が完全に停止するまで待ちます。
3. スロットル/チョークレバーをSLOWの位置にします。
4. イグニッションキースイッチをOFFに回し、エンジンを停止します。
5. イグニッションキーを引き抜き、子供の手の届かない場所に保管します。

メンテナンス メンテナンスチャート

トラクタ及びモアデッキ	
運転 初回 10 時間	
グリスの点検及びグリス給油	
1.モアデッキ上スピンドル	×各スピンドル3か所
2.フロントアクスルキングピン	×左右キングピン2か所
3.フロントアクスルピボット	×1か所
運転 8 時間毎もしくは毎日	
セーフティインターロックシステムの点検	
トラクタやモアデッキに付着したゴミの除去	
エンジンに付着したゴミの除去	
運転 25 時間毎もしくは年間 *	
モアブレードの停止までの時間の点検	
トラクタとモアのネジの緩みの点検	
タイヤ空気圧の点検	
運転 50 時間毎もしくは年間 *	
グリスの点検及びグリス給油	
1.モアデッキ上スピンドル	×各スピンドル3か所
2.フロントアクスルキングピン	×左右キングピン2か所
3.フロントアクスルピボット	×1か所
トラクタブレーキの点検	
バッテリー及びケーブルの清掃	
年間（販売店で実施）	
トラクタ及びモア部の潤滑油注入	
モアブレードの点検**	

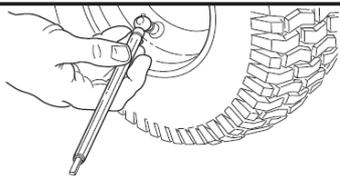
* いずれか早い時期に行ってください。

** ブレードに砂や土などが付着したり埃がひどい状況下ではより頻繁に点検してください。

タイヤ空気圧の確認

タイヤは最適な牽引力を得ることと、ブロックパターンが確保するために、定期的にチェックされなければなりません。（図9参照）

*下記表の圧力はタイヤに表示されている「Max Inflation（最大の空気圧）」とわずかに異なるかもしれません。



タイヤサイズ	kPa	kgf/cm ²
15 x 6.0-6	82.5-96.2	0.8-1.0
22 x 10.0-8	68.7	0.7

図9 タイヤ空気圧の点検

エンジン	
運転 5 時間	
初期エンジンオイルの交換-エンジンの取扱説明書参照	
運転 8 時間毎もしくは毎日	
エンジンオイルレベルの確認	
運転 25 時間毎もしくは年間 *	
エアフィルタとプリクリーナの点検**	
運転 50 時間毎もしくは年間 *	
エンジンオイルの交換	
オイルフィルタの交換	
年間	
エアフィルタの交換	
プリフィルタの交換	
年間（販売店で実施）	
マフラとスパークアレスタの点検	
スパークプラグの交換	
燃料フィルタの交換	
エンジンの冷却フィンの清掃	

* いずれか早い時期に行ってください。

** 埃がひどい状況下ではより頻繁に清掃してください。

モアブレードの停止時間

PTOスイッチをOFFにした後、モアブレードとモア駆動ベルトが5秒以内に完全に止まらない場合、再調整が必要です。

1. トラクタをニュートラルとしてPTOを切って、オペレータがシートに座ってエンジンを始動してください。
2. 左フットレスト側のモア駆動ベルトを見てください。PTOをつなぎ数秒待ってください。PTOを切ってモア駆動ベルトが止まるまでの時間をチェックしてください。
3. モア駆動ベルトが5秒以内に止まらないならば、販売店に相談してください。

バッテリーのメンテナンス



警告

バッテリーケーブルを取外す時はマイナスケーブルを先に、また取り付けるときは後から行ってください。この順序で行わないならば、プラス端子は工具でフレームにショートすることになります。

バッテリーとケーブルの清掃

1. バッテリーからマイナスケーブルをまず先に外し(図10のA)、次にプラス側のカバーとケーブル(B)を外します
2. ウィング・ナットとワッシャ(D)を外します。
3. バッテリー固定金具(C)を持ち上げ外します。
4. バッテリーを外します。
5. 重曹と水の溶液で、バッテリー端子をきれいにしてください。
6. ワイヤブラシとバッテリー端子クリーナーでバッテリー端子とケーブル端子をきれいにしてください。
7. バッテリーを置き、固定金具とウィング・ナットとワッシャを取り付けます。
8. プラス側のバッテリーケーブルを先に取り付けカバーをしてからマイナス側ケーブルを取り付けます。
9. 組み立てられたターミナルにワセリンまたはグリスを塗布してください。

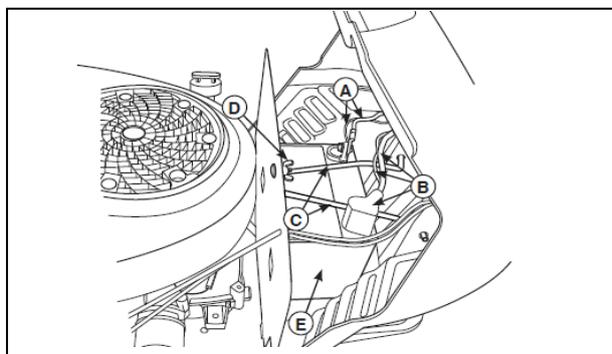


図10 バッテリーとケーブルの清掃

バッテリーの充電



警告

裸火や火花はバッテリーから遠ざけてください。

これらからのガスは非常に爆発的です。充電中はバッテリー周辺の換気をしてください。

エンジンを始動できないのは、使用できないバッテリーまたは弱い劣化したバッテリーまたは、充電システムまたは他の電気コンポーネントの欠陥の結果であるかもしれません。問題の原因に対する疑いがある場合はお買い求めの販売店に相談してください。

バッテリーを交換する必要がある場合はバッテリーとケーブルの清掃の項を参照してください。

バッテリーを充電するために、このマニュアルの安全に関するセクションに含まれるすべての警告だけでなく充電器メーカーにより提供される指示に従ってください。

完全充電されるまで、バッテリーを充電してください。10アンペアを超える容量で充電しないでください。

シートの調整

シートは前後方向に調整できます。レバー(図11のA)を動かし任意の位置に調整します。

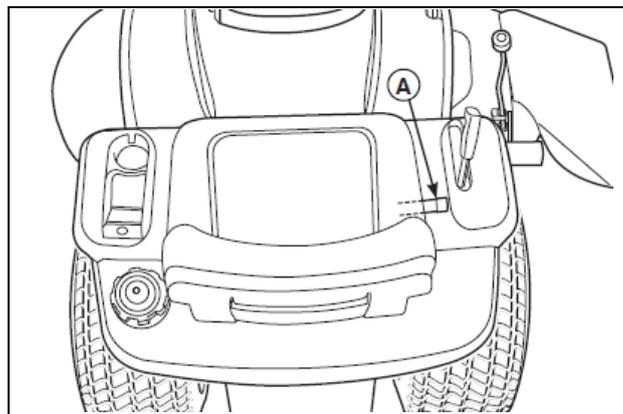


図11 シートの調整

ハンドル高さの調整

1. ボンチを用いてロールピン(図12のA)を引き抜きます。ハンドルを引き抜きます。
2. ラバーブーツを押し下げ、ステアリングシャフト(C)の二つの穴が見えるようにする。
3. ハンドルの穴とステアリングシャフトの所定の穴と位置を合わせてロールピンを取り付けます。

注意:ハンドルは工場出荷時には下の穴に合わせて取り付けられています。

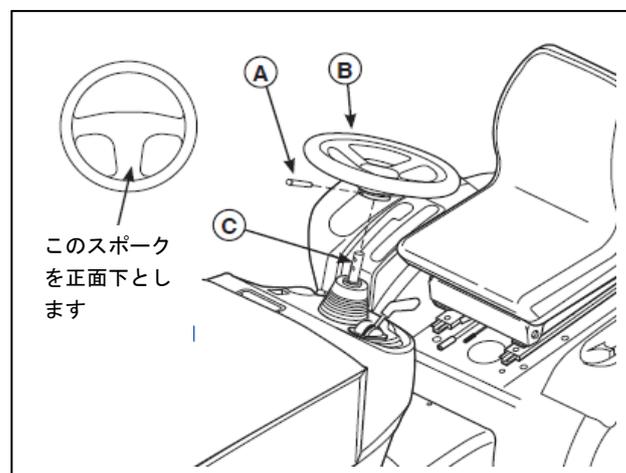


図12 ハンドル高さの調整

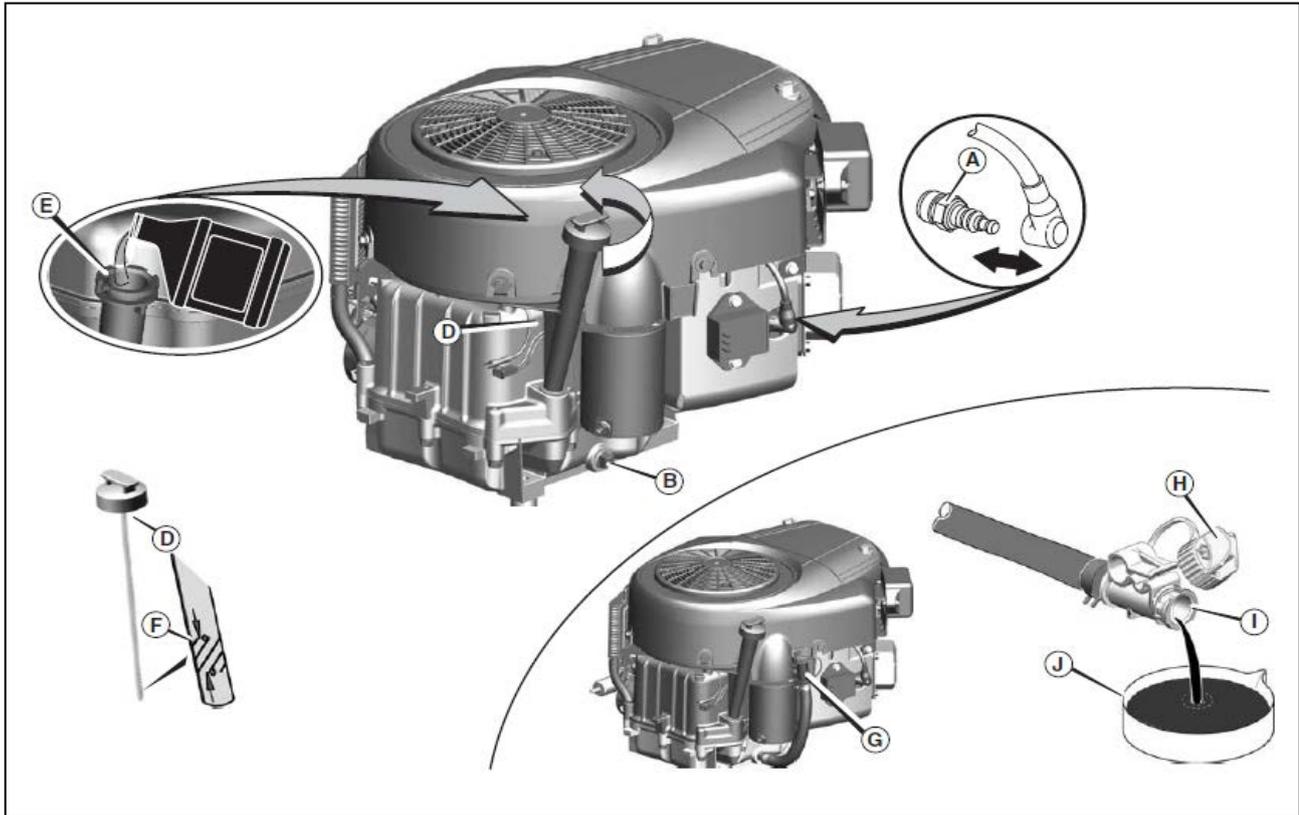


図 13

オイルの交換

使い古した油は危険な廃棄物で、正しく処分されなければなりません。家庭ごみで放棄しないでください。

安全なリサイクルのためにお住いの地方自治体に確かめてください。

オイルの抜き取り

1. エンジンがまだ温まっている間に、スパークプラグワイヤ(図 13 の A)を引き抜き、スパークプラグから遠ざけます。
2. オイルゲージ(D)を外します。

標準のオイルドレンプラグ

1. オイルドレンプラグ(B)を外してオイル受け容器に抜き取ります。
2. オイルが抜き終わったらドレンプラグを取り付けます。

クイックオイルドレン(オプション)

1. オイルドレンホース(G)をエンジンの横から外します。
2. オイルドレンキャップ(H)を回して外し、クイックオイルドレン(I)をゆっくりと降ろしてオイル受け容器にオイルを抜きます。

オイルが抜き終わったらオイルドレンキャップを取り付け、ドレンホースをエンジンに固定します。

オイルフィルタの交換

交換の時期はメンテナンスチャートを参照してください。

1. エンジンオイルを抜き取ります。オイル交換の項参照
2. オイルフィルタ(図 14 の C)を外して廃棄します。
3. オイルフィルタを取り付ける前にオイルフィルタのガスケットにきれいなオイルを軽く塗布します。
4. オイルフィルタをアダプタに手で締めこみます。さらにオイルフィルタを 1/2 から 3/4 回転締めこみます。
5. オイルを給油します。オイルの給油の項参照
6. エンジンを始動して暖機運転をしてオイルが漏れていないか確認します。
7. エンジンを停止し、オイルレベルを再確認して、不足していたら追加補充してください。

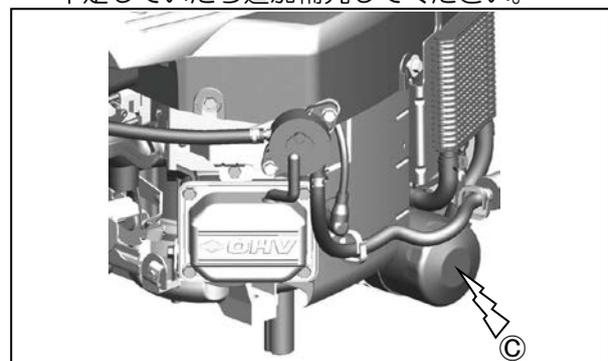


図 14 オイルフィルタの交換

オイルの給油

- トラクタを平らな場所に置きます。
 - オイル注入口周辺の汚れやゴミを取り除きます。
 - 仕様の項でオイル容量を確認してください。
1. オイルゲージ(図13のD)を外してきれいな布でふき取ります。
 2. 新しいエンジンオイルをゆっくりと入れます(E)。**入れ過ぎない**でください。オイル注入後1分ほど待ってからオイルレベルを確認します。
 3. オイルゲージを完全に差し込みます。
 4. オイルゲージを抜いてレベルを確認します。ゲージのFULLマーク(F)まで入っていることが必要です。
 5. ゲージを再度取り付け締めます。

エアフィルタのサービス



警告

ガソリンとその蒸気はきわめて可燃性が高く、爆発性があります。
火災または爆発により、ヤケドや死亡事故が起こる可能性があります。

- エアクリーナ Assy もしくはエアフィルタを外した状態ではエンジンは絶対に始動しないでください。

注意: フィルタに高圧エアをかけたり、化学洗剤等で洗わないでください。いずれもエアフィルタに損傷を与えることになります。

1. カバー(図15のA)を外します。
2. フィルタ(B)の淵を上を持ち上げ外します。
3. プリクリーナ(C)を外します。
4. 外したカートリッジは平らな固い表面で軽くたたいてゴミを取り除きます。汚れが著しい場合は新しい部品と交換してください。
5. プレクリーナは石鹼水で洗い、乾燥させます。プリクリーナにはオイルを含ませないでください。
6. プレクリーナをカートリッジにかぶせます。
7. 組み立てたフィルタをベース(D)に置き、きちんと収まるよう押し込みます。
8. カバーを取り付けます。

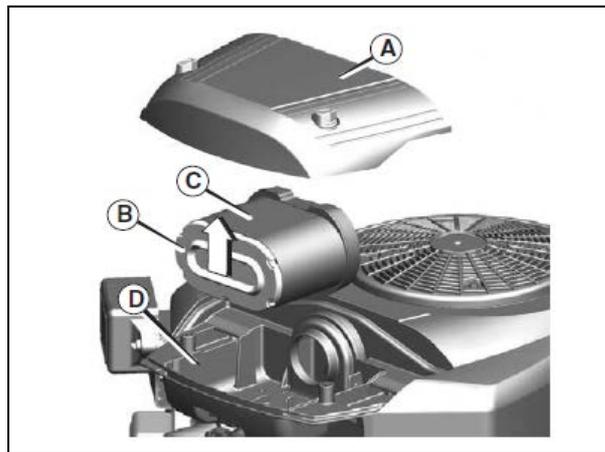


図15 エアフィルタのサービス

モアデッキの清掃

モアデッキの左側にある洗浄ポートに、一般的な園芸ホースを接続して洗浄することにより、モアデッキ内側に堆積した草や破片を除去できます。これによりモアデッキが安全に使用できます。



警告

モアデッキ内のブレードを回す前に、ホースがきちんと繋がれて、刃と接触しないことを確認してください。モアデッキが駆動していたり、ブレードが回転しているときは、モアデッキを洗浄している人はオペレータの位置にいなければなりません、さらに周囲に人がいないことを確認してください。確認不十分な場合は体にケガや重度の裂傷等の重傷または死に至る可能性もあります。

1. トラクタは水平の位置に停車してください。
2. ワンタッチコネクタ(図16のA)を水道ホース(B)に取付け、モアデッキにある洗浄ポート(C)に接続します。
3. モアデッキ内の草やゴミを除去するために水を出します。
4. モアデッキの刈高さ位置を最上段にしブレードを回転させると、モアデッキ内の洗浄がされます。
5. ブレードの回転を止めます。
6. ホースとワンタッチコネクタを洗浄ポートから外します

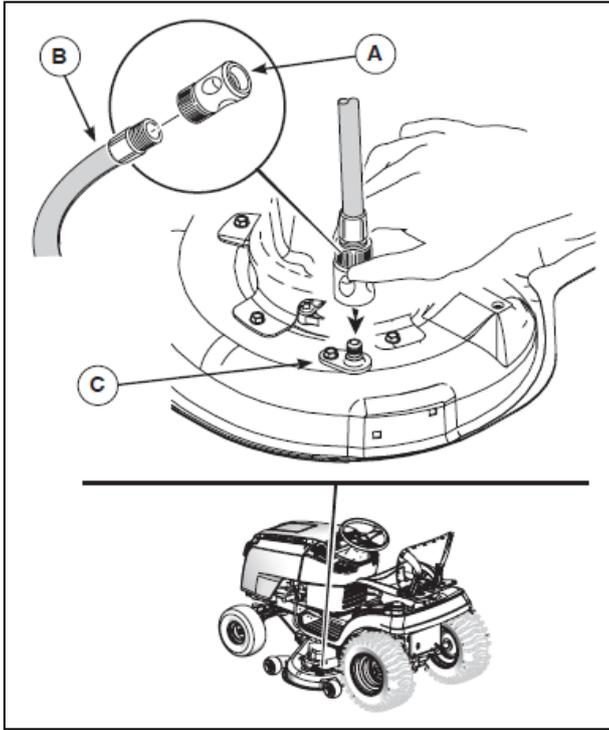


図 16 モアデッキの清掃

保管



警告

燃料が入ったままのトラクタを換気の悪い場所に保管しないでください。揮発して蒸気が火花等に触れると爆発することがあります。またこの蒸気は人や動物にとっても有害なものです。

燃料もしくはトラクタのタンクに保管する場合

- 燃料や燃料が入ったままのトラクタの保管時にはストーブや瞬間湯沸器等の裸火や火花が蒸発したガソリンに引火することがありますので、これらに近づけないでください。

トラクタ

PTOをOFFにしブレードを止め、パーキングブレーキをかけて、イグニッションキーを抜き取ってください。

バッテリーは涼しく乾いた場所に保管してください。また月に一度は完全に充電をしてください。バッテリーがトラクタに搭載されたままであれば、マイナスケーブルを外してください。

燃料システム

燃料を30日以上保管する場合には、燃料が劣化します。劣化した燃料は燃料システムや重要なキャブレタ部分に粘性物質が形成します。これを防ぐためにタンク内の燃料に燃料劣化防止剤を添加してください。エンジンを2分ほど運転し、燃料劣化防止剤がキャブレタに循環するようにしてください。これによって、エンジンおよび燃料は最大36ヶ月間保管できます。燃料劣化防止剤を使用しない場合、保管時にはタンクやキャブレタ等の燃料システムからガソリンを完全に抜いてください。

エンジンオイル

エンジンがまだ暖かい状態のときにエンジンオイルを抜いてください。

次のシーズンにすぐ使用できるように、あらかじめオイルを交換してください。

- すべてのオイルレベルをチェックしてください。すべてのメンテナンス・アイテムをチェックしてください。
- このマニュアルで示される点検とその手順を推薦されるすべてを実行してください。
- エンジン使用の前に数分間暖気してください。

トラブルシューティング

トラブル内容	原因	対処方法
エンジンが回転しない/始動しない	ブレーキペダルが踏み込まれていない	ブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。
	PTOスイッチがONになっている	PTOスイッチをOFFにしてください。
	クルーズコントロールがニュートラルになっていない	レバーをニュートラルにしてください。
	燃料切れ	エンジンが冷えてから、給油してください。
	ヒューズが切れている	販売店へご相談ください。
	バッテリーターミナルが汚れている	バッテリーとケーブルの清掃 の項参照して掃除します。
	バッテリーの容量不足か不良	充電するか交換します。
	ワイヤ類が外れているか、不良	配線を確認して、もしショートしていたり損傷していたら、販売店にご相談ください。
	ソレノイドかスターターモーターの不良	販売店へご相談ください。
	セーフティーインターロックの故障	販売店へご相談ください。
	スパークプラグの不良、不適切なギャップ	販売店へご相談ください。
	燃料に水が混ざっている	販売店へご相談ください。
	燃料が古い	販売店へご相談ください。
エンジンの始動が困難/回転不足	混合気が濃厚すぎる	エアクリーナを掃除します。
	エンジンの他のトラブル	販売店へご相談ください。
エンジンがノックする	エンジンオイル不足	エンジンオイル量を確認し、必要に応じて加えます。
	エンジンオイルのグレードが違う	推奨オイル の項参照
過度のオイル消費	エンジンオーバーヒート	販売店へご相談ください。
	オイルのグレードが違う	推奨オイル の項参照
	エンジンオイルの入れ過ぎ	ドレインからオイルを抜いてください。
黒煙が出る	エアクリーナが汚れている	エアクリーナを掃除してください。
エンジンは始動するがトラクタが動かない	スピードコントロールペダルを踏んでいない	ペダルを踏みます。
	トランスミッション開放レバーが「手押し」の位置にある	レバーをドライブポジションにします。
	ブレーキが十分に解除されていない	販売店へご相談ください。
	ドライブベルトがスリップしている	販売店へご相談ください。
ブレーキが効かない	ブレーキ内部の故障	販売店へご相談ください。
ハンドルの動きが硬い、ゆるい	ハンドルのリンケージがゆるい	販売店へご相談ください。
	タイヤ空気圧の不足	タイヤ空気圧の点検 の項参照
	フロントホイールスピンドルベアリングの潤滑不足	販売店へご相談ください。

トラブル内容	原因	対処方法
モアデッキがあがらない	リフトリンケージの取付が不十分もしくは曲がっている。	販売店へご相談ください。
刈りあがりにムラがある	モアの高さが正しくない。	販売店へご相談ください。
	トラクタのタイヤ空気圧が不足	タイヤ空気圧の点検 項参照。
刈りあがりがラフである。	エンジン回転数が低すぎる。	エンジンをフルスロットルとしてください。
	走行速度が速すぎる。	走行速度を落としてください。
	その他のトラブル	販売店へご相談ください。
エンジンがストールしてモアが駆動しない。	エンジン回転数が低い。	エンジンをフルスロットルとしてください。
	走行速度が速すぎる。	低速とします。
	エアクリーナが汚れているか詰まっている	エアフィルタの清掃 の項を参照。
	刈り高さが低すぎる	草が伸びすぎている場合は、刈り高さを上げて、何回かに分けて刈り込みます。
	放出シュート内に刈った芝が詰まっている。	シュート内の詰まった芝を取り除き、刈り取ったエリアに放出するようにしてください。
	エンジンの運転温度が規定に達していない。	十分に暖機運転をしてください。
	背の高い芝のエリアでエンジン始動している。	刈り終わった場所でエンジン始動してください。
振動が大きい	モアの他のトラブル	販売店へご相談ください。
エンジンは始動でき、トラクタは動くがブレードが回らない	PTO が動いていない	PTO スイッチを入れます。
	モアの他のトラブル	販売店へご相談ください。

仕様緒言

注意：仕様は印刷する際に正しく、予告なく変更されることがあります。

*個々のガソリンエンジンモデルの出力は SAE (Automotive Engineers) コード J1940 (Small Engine Power & Torque Rating Procedure) に従ってラベルを貼付しています。出力表示は SAE J1995 (改訂 2002-05) に基づいて表示しています。最大トルクは、3060RPM で引き出されま

す。馬力は、3600RPM で引き出されます。実際のエンジン出力は、運転時の周囲の温度等の状況と個々のエンジンによって影響を受けます。エンジンが搭載される作業機の種類と作業機を駆動することに適用できる環境問題のバラエティがあれば、作業機の所定の場所で使われるとき、ガソリンエンジンは総合的な出力を高めません。これは、アクセサリ (エアクリーナ、マフラ、充電、冷却、キャブレタ、燃料ポンプ、その他)、アプリケーションとしての限度、周囲の動作状況 (温度、湿度、高度) と個々のエンジンの種類等いろいろな要因によります。ブリッグス&ストラットン社は、より高い出力エンジンをこの Series に搭載することもあります。

エンジン

23HP	Briggs & Stratton
モデル	プロフェッショナルシリーズ V-ツイン EFM 付
出力	23HP/3600 rpm
排気量	724 cc
電装	12V, 9A 充電装置 12V-230 CCA バッテリ
オイル容量	1.9 リットル
エンジンオイル	5W30 合成オイル
スパークプラグギャップ	0.76 mm
スパークプラグ締付トルク	20Nm
燃料タンク容量	13.2 リットル

車体:

シート調整	9 段階
回転半径	35.6 cm (後輪内々)
前輪タイヤサイズ	15 X 6.0 -6
タイヤ空気圧	82.5~96.2kPa (0.8~1.0kgf/cm ²)
後輪タイヤサイズ	22 X 10.0 -8
タイヤ空気圧	68.7kPa (0.7 kgf/cm ²)

トランスミッション

メーカー	Turf Torq K46Z
エンジンオイル	10w 30 プレミアムエンジンオイル
スピード	前進: 0~9 Km/h @3400 rpm 後進: 0~4.6 Km/h
定格トルク	230.5 Nm

モアデッキ:

刈幅	116.8 cm
ブレード数	3 枚
デッキプラットフォーム	横吹き出し
デッキホイール	4 個
刈高さ	20 ~102mm
刈りポジション	無段階

寸法:

全長	180.3 cm
全幅	139.0 cm
全高	114.3 cm
乾燥重量	230.0 kg

サービスパーツ

交換部品は、お買い求めの販売店から入手可能です。必ず純正の サービスパーツを使ってください。

アクセサリ

部品表と同様に、多くの便利で役に立つサービスとメンテナンスに必要な機材はお買い求めの販売店で出来ます。

BARONESS[®]
Quality on Demand



株式会社 共栄社

〒442-8530
愛知県豊川市美幸町1-26

TEL (0533) 84-1221
FAX (0533) 84-1220